### 明細書 Lint 1.3.0 の新機能一覧

令和4年6月5日 綾木 健一郎

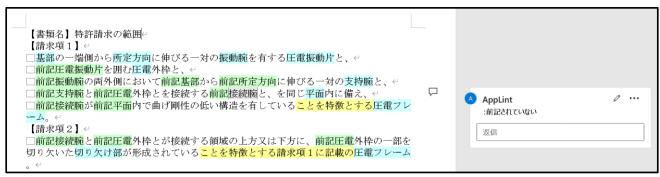
# 1. 何をするものなのか

明細書 Lint は、特許明細書原稿の細かな不具合を検査するものです。請求項/明細書/サポート要件/文長の主要機能があります。消去は、検査結果のマーカやコメントを消去するものです。40x50 と 36x29 は、WORD の段落を明細書の書式に合わせ、かつインターネット出願ソフトの形式に合わせるものです。

# 2. 各機能の紹介



「請求項」・・・請求項の引用関係と前記の記載をチェックします。修正が必要な部分については Word のコメントで不具合が指摘されます。



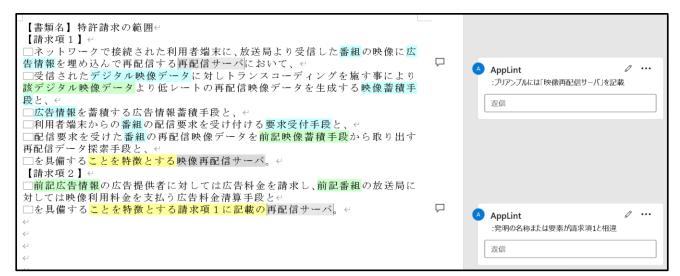
# 【明細書 Lint-請求項の実行例】

・前記のチェック結果

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
有する圧電振動		前記付き名詞より前に記載された名詞(先	
片と、		行詞)。	
前記圧電振動片		前記付きの名詞で、正常に記載されている	
を囲む		もの。	
前記送信部		前記付きの名詞で、複数の名詞が先行して	修正した方がよい
		記載されているもの。	
前記接続腕	前記されていない	前記付きの名詞で、これより前に記載され	要修正
		ていないもの。	

#### ・請求項の引用部のチェック結果:

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
請求項1に記載		引用部で、正常に記載されている。	
<u>の</u>			
請求項 <mark>1~2に</mark>	請求項が択一的に引	択一的に引用されていない。	要修正
記載の	用されていません		
請求項 <mark>3記載の</mark>	引用する項番号(N)	引用先が不正。	要修正
	が不正		
請求項 <mark>1から請</mark>	マルチマルチクレー	マルチマルチクレームの記載。	出願日が令和4年
求項6の何れか	A		4月1日以降なら
一項に記載の			ば要修正



#### 【明細書 Lint-請求項の実行例】

プリアンブルのチェック結果

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
再配信する再配	プリアンブルには	「~であって、(改行)」「~において(改	修正した方がよい
信サーバにおい	「ブリッジ型抵抗回	行) などと記載されたプリアンブル部分	
て、	路装置」を記載	と、発明の名称との不整合。	

発明の名称のチェック結果:

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
映像再配信サー		発明の名称で、正常に記載されているも	
バ		$\mathcal{O}_{\circ}$	
再配信サーバ	発明の名称または要	引用先との不整合あり。	要修正
	素が請求項 1,2 と相		
	違		



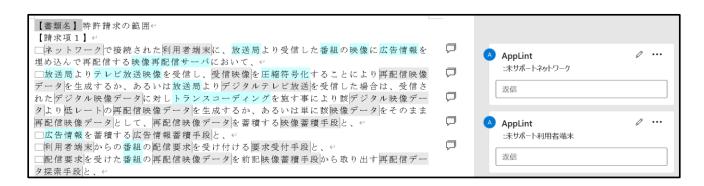
「明細書」・・・符号の記載をチェックします。

□符号 7 に示す広告情報の入力を促す方法の例を図 4 に示す。広告依頼者 3 は、広告を埋 め込みたい番組を指定してもよいし、特に指定しなくても良い。挿入方法は、ビデオクリ AppLint ップを従来のいわゆるコマーシャルとして組み込んでも良いし、画面の上部あるいは下部 :エラー「番組表 10 | などにテロップ広告あるいはバナー広告として組み込んでも良い。さらに、組み込まれた ビデオクリップやテロップから他の広告へのURLへのリンクをはっても良い。 □また、サービス提供者2は、サービス利用者4に対し、図1、および図3中の符号10 に示すように、コンピュータネットワークを介して、サービス利用者 4 が再配信を希望す AppLint るテレビ放送映像を一意に定め得る配信希望番組情報11の入力を促す手段として、 ビス提供者2がサービス提供可能な番組リスト10を提供する。これによりユーザより返 :エラー「番組表10」 信される配信希望番組情報 1 1 は、再配信データ探索部 2 7 に入力される。← 返信 □番組として示す配信希望番組情報 1 1 の入力をサービス利用者 4 に促す手段の一例を図 5 (a), (b) に示す。図5 (a) に示すインタフェースを用いて、サービス利用者 4 に 再配信希望番組情報 11の入力を促す。サービス利用者4は、図5(a)上部に示す番組 AppLint 表内の各番組名をマウスでクリックするか、あるいは図5(a)下方に示すダイアログに :エラー「配信希望番組情報11」 より再配信希望番組情報 11をサービス提供者2に出力する。登録された再配信希望番組 2022年6月5日、23:52 情報11は、図5(b)に示すインタフェースを用いて、確認の後にサービス対象として 登録される。↩ □再配信データ探索部 2.7 では、番組表データベース 2.4 より入力される 番組リスト 1.0

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
番組表10		要素名と符号が対応しています。	
番組リスト10	エラー「番組表 1	要素名と符号が対応していません。コメン	要修正
	0 ]	トで修正候補が提示されています。	
番組表は		要素名が単独で記載されている可能性が	要検討
		あります。	



「サポート要件」・・・請求の範囲の用語が実施形態にサポートされているかをチェックします。



マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
放送局		実施形態にサポートされています。	
利用者端末	未サポート:利用	実施形態にサポートされていません。	要修正
	者端末		

「文長」・・・文章の長さが100文字を超えるものと、その他文章の形式的な部分をチェックします。 メントを付与すると共に、検査した Word ファイルと同名の CSV ファイルに、エラーログを出力します。



「消去」・・・マーカとコメントを消去します。

「40x50」・・・40文字50行の書式に変更します。その際、インターネット出願ソフトに掛けられるように出来るだけ修正します。ブックマーク、巻末注、脚注、ハイパーリンク、コントロールを削除し、変更履歴とフィールドはテキストに修正します。段落は左揃えとし、インデントは全角スペースに変換します。フォントスタイルは下線と上付き/下付きを除いて修正します。

「36x29」・・・36文字29行の書式に変更します。その際、インターネット出願ソフトに掛けられるよう、出来るだけ修正します。



「認証」・・・現在の認証状態を表示します。

#### 3. 操作方法

- (1) ネットワークに接続していることを確認してください。
- (2) WORD を起動して、所望の明細書ファイルを開いてください。
- (3) 各ボタンをクリックして、細かな不具合部分にコメントやマーカを表示させ、その部分を修正します。
- (4) チェックが完了したならば、消去ボタンでコメント/マーカを消去してください。

# 5. 各エラーメッセージの詳細



# 「文章長さ」

エラーメッセージ	意味	修正の必要性
・・・文字	・・文字を超える長さの文章	修正した方がよい
主語が存在しません	主語が存在しない文章	修正した方がよい
括弧の不整合	文章中の括弧が整合していない	要修正
句点無し	文章が句点で終了していない	要修正
請求項番号の直後の文章	【請求項1】などの直後に記載あり	要修正
「段落」の直後の文章	【0012】などの直後に記載あり	要修正
行頭のスペース無し		要修正
行頭のスペースがn個		要修正
読点がカンマとして記載されてい		要修正
ます		
カンマが読点として記載されてい	数字や符号の区切りに読点を記載。	修正した方がよい
ます		
句読点やカンマが連続していま		要修正
す。		

以上